

## PM2.5の対応はどうか



志保 平原 議員  
動画視聴

**問** 県からのPM2.5の注意喚起を受けて市ではどう対応しているのか。

**答** 注意喚起の段階では防災無線や学校への連絡はしていない。県環境保全課より、注意情報が発表された場合のみ「PM2.5緊急連絡網」に従い連絡するようにしている。

**答** これまで本県では注意情報は発表されたことがない。今後発表の際には、迅速な対応を行う。

県独自の対応として注意情報の基準値に満たない場合でも、比較的高い濃度が継続している場合は、メールによる情報発信を行っている。市は学校に対して、このメールの周知を図り、学校の判断で、児童・生徒に呼びかけていきたい。

**その他の質問**  
・夏休みの学童保育について  
・国家戦略特区に応募しなかった理由について

県ではあらかじめメール配信の登録をされた方に、PM2.5に関する注意情報等を配信しています。  
携帯電話へメール配信をご希望の方は、携帯電話サイトをご利用ください。



## 牧之原地区の大字「福山」を「牧之原」に



明彦 宮本 議員  
動画視聴

**問** 4月に「牧之原三地区の大字『福山』を『牧之原』に変更することについての陳情書が、市長に提出されたと思うが、大字の変更を進めようと考えているのか問う。

**答** 現在、庁内関係部署で課題を検討している。今まで何回も地域を代表される方々が、強い要望を伝えるにいられている。それ相当の経費もかかることになるが、地域全体



国道220号にある道路標識

## 中心市街地の開発について



綱雄 池田 議員  
動画視聴

**問** ソニー国分東側の農地約9haは、ほ場整備後国分市時代からいろいろ開発の話がある。国分と隼人の商業地を分断し

**答** 当分の間は現状のまま農用地として保全することが適当であると位置付けている。市の中心地でもあり、立地条件等を考慮した場合、農地のままで良いとは思っていない。

## 第2回全国キリシマツツジサミット開催後の取組



広紀 前島 議員  
動画視聴

**問** 第2回全国キリシマツツジサミットが4月18日、霧島市で開催され、全国から約250名の方々が集まった。大学教授による基調講演や国分中央高校生による増殖・

栽培の研究発表が行われ、親交が深められた。今後の行政の取り組み方を問う。



研究発表する国分中央高校生

**答** 今後、里帰りしたキリシマツツジ（能登のNPOから贈られた樹齢100年と70年の古木）の管理や、市内全域に植生させるための増殖活動に取り組みたい。将来的には、キリシマツツジが結ぶ園芸文化による交流人口の増加や、地域間交流による活性化、さらに、花を活かした観光振興につなげていきたい。

**医師会医療センター職員の確保を**  
**問** 医師会医療センターの医師・看護師や職員等の現状と確保対策はどうか。

**答** 平成27年6月1日現在の同センターの職員数は、常勤・非常勤を合わせて411名で、医師が56名、看護師が237名、技術系職が41名、事務職が77名である。医師の確保については、鹿児島県のドクターバンクへ求人登録、鹿児島大学医学部医局への医師派遣の要請、本県出身者の縁故による要請などに取り組んでいる。

**その他の質問**  
・農政について

## 外国人旅行者が増えている「観光と農業の並進を」



誠 木野田 議員  
動画視聴

**問** 外国人旅行者が増えている。旅館、飲食店において、地場産等の食材

を最大限に活用した食への取り組み等を推進すべきである。生産者の生産意欲も向上すると思うがどうか。

**答** 今後、旅館、ホテル、飲食店等においてどのような食材の需要がどのくらいあるのか、供給できる農産物がどの程度あるのか調査し、地産地消の推進に努めていきたい。

## 地熱開発理解促進関連事業について



厚地 覚 議員  
動画視聴

**問** この事業の予算で「霧島市地熱に関する学習及び研究会」を2カ年で実施したが、その成果はどうだったのか。

**答** この補助金を活用し、地域住民や温泉保護団体、地質学等の専門家を構成員とする会を設置し、勉強会や視察等を行い、地熱の基本的知識のほか、温泉と地熱の相互関係や温泉保護の必要性、開発に対する視点等を認識することができた。

**答** 庁内で議論が続いている。先進地事例を参考にしながら整理し、条例等の検討まで掘り下げて考えていきたい。

**問** 霧島温泉地域で温泉発電の計画があるが、泉熱や水の掘削で熱水不足が懸念されている。先進地の温泉地並みに条例や要綱等制定すべきではないか。

**答** 庁内で協議も進んでおり、少しでも早く対応を進めていく。

**答** 移住定住促進につい

## 中山間地域活性化の移住定住促進について

**問** 移住定住促進については、多くの利用者があり活性化に繋がっていると思う。今回の地方創生の政策目標の一つに、移住者・定住者の拡大を図るとしているが、この条件の内容をさらに充実できないか。

**問** 高齢者の健康増進策として、「いきいきチケット」をスポーツ施設に利用できないか。  
また、旧霧島ハイツパークゴルフ場の再開に向けて市が取り組めることはないか。

**霧島ハイツパークゴルフ場を再開できないか**  
**問** 旧霧島ハイツパークゴルフ場は、素晴らしい場所であり、素晴らしい施設である。民間の施設ではあるが、雇用・納税等いい循環になるよう営業マンとして最大の努力をしているところである。

**問** 「市営住宅の稼働率向上策」について

では、中山間地域の活性化に繋がっており、今後も霧島市の魅力を効果的にPRするとともに中山間地域の活性化の施策を更に充実し、積極的に展開していきたい。

移住定住情報  
~中山間地域の活性化を目指して~



**問** 市長が旧牧園町長に就任以来11年が経過している。開発に対して環境アセス等を調査した後、開発などの判断をすべき

